

2025年度 中間決算説明会

有機合成で暮らしと環境にイノベーションを

T/JOKI 田岡化学工業株式会社

取締役社長 岩崎 明 2025年11月13日



目次

2 2025年度中間期決算概要 P.04

3 2025年度見通し ----- P.09

4 トピックス ------ P.12



1. 会社概要

社名	田岡化学工業株式会社
創業	1919年04月
設立	1934年10月
資本金	1,572百万円
従業員数	単体:420名 連結:492名(2025年9月末)
事業内容	化学工業、受託分析
事業所	本社・淀川工場

播磨工場(播磨地区、愛媛地区)

関係会社 国内4社

海外3社(インド・シンガポール・中国)

うち 連結3社 非連結3社 持分法非適用1社

東京支店



2. 2025年度中間期決算概要

(単位:百万円)

	2024年中間期	2025年中間期	増減	
売上高	15,062	17,695	2,633	
営業利益	898	1,406	508	
経常利益	948	1,433	484	
当期純利益	638	1,052	413	
為替レート(円/\$)	152.45	146.07	△6.38	
ナフサ価格(円/KL)	78,000	64,500	△13,500	

売上高 樹脂原料や可塑剤などの増収が寄与

利益面 交易条件の悪化や固定費の増加はあるも、出荷数量の増加により増益

事業別売上高前年同期対比



(単位:百万円)

精密化学品事業





- ・ 農薬中間体の出荷数量減少
- ・ 樹脂原料の出荷数量増加

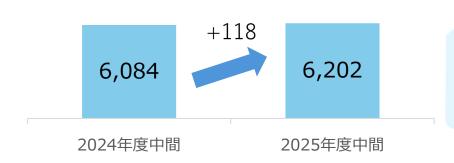
機能材事業





・ゴム薬品の出荷数量減少

樹脂添加剤事業

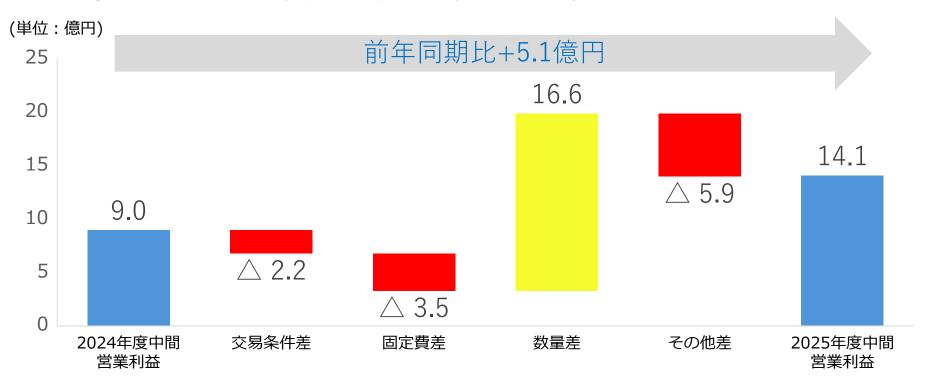




・可塑剤の販売増加



営業利益対前年同期変動要因分析



交易条件差 : 全般的な交易条件の悪化

固定費差 : 償却費增(N-2他)、労務費他経費増

数量差: 販売増

その他差:低価法損益悪化や在庫固定費の持ちこしなど



連結貸借対照表

(+12:175)							
	25.3末	25.9末	増減		25.3末	25.9末	増減
流動資産	16,226	17,474	1,248	負債	11,908	12,273	365
売上債権	5,590	6,313	724	仕入債務	4,951	5,385	434
棚卸資産	7,340	7,326	△14	借入金	1,490	1,180	△310
その他	3,297	3,835	539	その他負債	5,468	5,708	240
固定資産	14,181	13,948	<i>△233</i>	純資産	18,499	19,150	650
資産合計	30,407	31,423	1,015	負債純資産合計	30,407	31,423	1,015
				自己資本比率	60.8%	60.9%	0.1%



連結キャッシュ・フロー

	2024年中間期	2025年中間期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,319	1,634	△685
投資キャッシュ・フロー	△786	△375	411
フリー・キャッシュ・フロー	1,533	1,259	△274
財務キャッシュ・フロー	△546	△638	△92
その他	65	△55	△120
現金及び現金同等物の増減	1,052	566	△486
現金及び現金同等物の期末残高	2,024	3,548	1,524



3. 2025年度見通し:業績予想 (10月29日修正)

(単位:百万円)

	前回予想 (2025/ 5 /12)	今回予想 (2025/10/29)	増 減
売上高	36,000	35,500	△500
営業利益	2,500	2,600	100
経常利益	2,500	2,600	100
当期純利益	1,700	1,750	50
配当(円/株)	36円	36円	0円

売上高 主な減少理由



販売減

利益 主な増加理由



交易条件改善



経費減

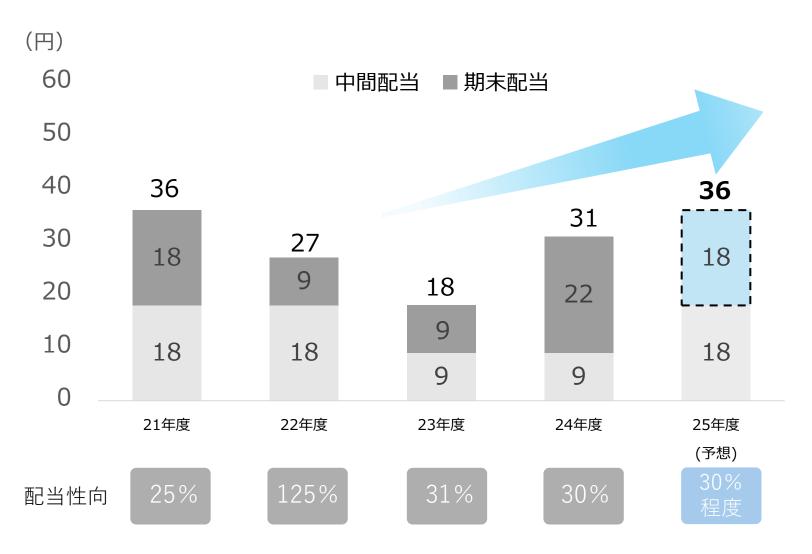


2025年度見通し:セグメント事業別売上高

	前回予想 (2025/5/12)	今回予想 (2025/10/29)	増減	2024年度 実績
化学工業セグメント 計	35,450	34,950	△500	29,312
精密化学品事業	19,100	19,100	_	13,233
機能材事業	3,550	3,300	△250	3,476
樹脂添加剤事業	12,800	12,550	△250	12,603
化学分析受託事業	550	550	_	618
合計	36,000	35,500	△500	29,930



配当実績推移及び配当予想



4.トピックス



バイオ可塑剤(生分解性・バイオマス可塑剤)

- 生分解性樹脂であるポリ乳酸(PLA)などとの相溶性^{*1}、耐ブリード性^{*2}に優れたバイオ可塑剤としてBPC シリーズを開発し展開している。
- 既存汎用可塑剤であるATBCのバイオマス度を向上したBio-ATBCの展開も開始した。
- サンプルワークに対応すべくBPCシリーズ2製品の工場スケール生産を実施済み。またBio-ATBCの工場製造も計画している。
- 住化グループの環境貢献製品としてSumika Sustainable Solutions *3の認定を受けた。
- ※1…複数の物質を混合した場合、分離せずに混ざり合う性質 ※2…樹脂中の可塑剤が表面に滲みださないようにする性能
- ※3…住友化学が環境・気候課題の解決に資する製品・技術を認定したもの
- ◆ 住友化学 住友化学ホームページより

生分解性バイオマス可塑剤

(田岡化学工業)



- ◆バイオマス原料を使用した生分解性可塑剤で、独自のエステル化技術により耐ブリード性や加工適性に優れています。
- ●バイオマス原料の使用に加え、 生分解性を有することで、環境負 荷の低減に寄与します。





バイオ可塑剤向け商標「TBIO+」の商標権取得について

・現在旺盛に開発を進めているバイオ可塑剤についてブランド化を進めるべく、社内公募にて下記ブランド名を選出。

TBIO+

・併せて、TBIO+について商標登録出願を行い、 本年8月20日に特許庁にて商標登録が為された。

(商標登録番号:6959170号)



指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 (LIST OF GOODS AND SERVICES)

第 |類 化学品,可塑剤

(その他別紙記載)

商標権者 (OMNER OF THE TRADENARK RIGHT)

大阪府大阪市淀川区西三国4丁目2番11号



出願番号 商願: (APPLICATION NUMBER) 出願日 令和

令和 7年 |月23日 (January 23,2025)

RED 今和 7年 8月20日 (August 20,2025) STRATION DATE)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。 IRINS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEBANK IS REGISTERD ON THE REGISTER OF THE JAPAN PAIRENT OFFICE.) 今和 7年 8月20日 (August 20,2025)

特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)





質疑応答

ご質問方法

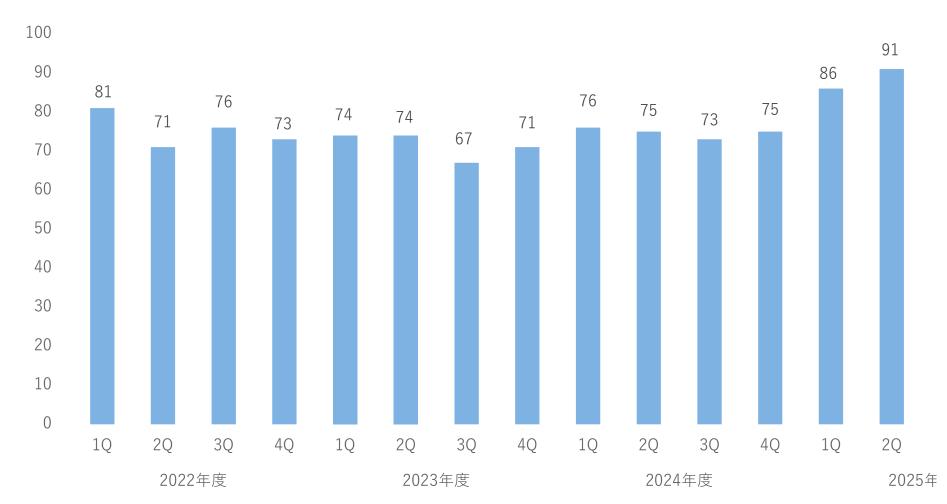
「挙手」ボタンをクリックください。順次ご指名します。 (ご質問終了後「手をおろす」をクリックください。) もしくは、Q&Aボタンにて質問を入力ください。 (Q&Aボタンは「詳細」内にある場合もございます)

※質疑応答要旨作成のため文字起こしをさせていただきます。



Appendix 四半期売上高推移

(単位:億円)



四半期営業利益推移



